

千川中学校だより

12月号 平成28年12月6日(火)

15の春に向けて

千川中学校長 紅床 直也

「15の春」と言うと頭に浮かぶのが、今から50年ほど前、中学生を大切な労働力として「金の卵」と呼んでいた時代のことです。中小企業の社長以下幹部が、地方から親元を離れて上京する生徒を上野駅まで迎えに行き、歓迎している古いニュース映像を見ることができます。

時は過ぎましたが、今でも「15の春」は存在します。私がかつて赴任した離島では、島内に上級学校があるわけもなく、卒業すると必然的に内地（ほとんどが東京23区内）の高校に進学することになります。当然、親元を離れて、都内に住む親戚を頼っての上京となります。また、現在でも伊豆大島に寮を持っている都立高校がありますし、そうした施設を完備した都内の私立高校もあります。自らの将来をしっかりと見つめることができている生徒にとっては、学習をはじめ、学校生活に集中できる環境となっています。

一方、送り出す保護者の側はどうでしょうか。15年間大切に育てた我が子です。離れて暮らすことに寂しさを感じないわけではありません。私が勤めた離島2校の保護者達はいずれも複雑な思いを持っていました。人口200～300人の島です。島内の産業と言えば、漁業か農業ですが、本州から遠く離れた離島故に、島外に出荷するとなると高額な輸送代が上乗せされ、商品の競争力ではかなうはずがありません。

親御さんたちは内心では島に戻ってきて、家業を手伝ってくれたらいいなと思っています。しかし、仕事を選ぶことが難しい環境では、そうした親子の情を優先することは、子どもの可能性を狭めることにもなりかねません。事実、高校卒業後の帰島率は、ごくわずかです。年始の日曜日に行われる成人式を中心とした数日間と夏の盆休み位が親子水いらずのわずかな期間となります。したがって、内地に戻る時は毎回毎回、万感の思いでの別れとなります。

八丈島からヘリコプターで20分に位置する青ヶ島では、中学三年生が島を離れるとき、ヘリポートに村民の多くが集まります。「おもうわよう」（島言葉で「さようなら」の意味）の横断幕を広げた人々に見送られて島を飛び立ちます。この時は特別に、島をぐるりと大きく旋回してから八丈島に向けて飛行します。もっとも、強風でヘリコプターが就航しないことも多い島ですので、多くは大型船での出航となります。

今月初めから、少しずつ、3年生の上級学校進学に向けての面接練習をしています。原則として1回ずつ、校長・副校長のどちらかが、一人20分程度の面接練習を実施します。1月の下旬には私立や都立の推薦入試が行われると思いますので、それに向けての追い込みになります。

3年生に限らず1、2年生にもお願いしたいのが、現時点での自分の得意分野を模索するとともに将来に向けての具体的なイメージを持っておいてほしいということです。中学二年生での職場体験だけでなく、ボランティアなど、さまざまな実体験から学べる機会はたくさんあります。そうした体験を積み重ねた先には、必ず、自分に合った進路選択が待っているはずです。

能代市いなか体験 11月4日(金)～6日(日)

豊島区と教育連携を結んでいる能代市へ今年度も区内の中学2年生16名がいなか体験に参加しました。能代市の中学校生徒との交流を通じて、互いに理解を深めることを目的としています。本校からも2名が学校の代表として参加してきました。

能代いなか体験では、たくさんの方々と交流することができた。いなか体験の前は楽しみにする気持ちはあったが、緊張する気持ちもあった。なぜなら、いなか体験でお世話になる方たちは、初対面の方ばかりだったからだ。どんな体験になるのか期待と不安が入り交じった気持ちだった。だが、不安な気持ちもすぐに忘れた。能代のみなさんが温かくいろいろな事を教えてくださったからだ。受け入れ先の農家の方は、夕食作りやいんごチップス作りなどを通して秋田の食文化や自立することの大切さを教えて下さった。JAあきた白神の方は特産品の白神ねぎのことを、能代市の中学生たちは豊島区の中学生との違いも教えてくれた。他にも、数え切れないほどの事を教えて頂いた。今回のいなか体験では人との交流を通してその土地の文化や風習を知ることの大切さを学んだ。このことを生かして、将来はたくさんの人々と交流して世界のことを知りたいです。

私がこの能代いなか体験で学んだことは、協力することはもちろん、行動力などです。また初対面他校の人達と、農家さんの家で過ごさせていただくのも貴重な体験で、たくさんのことを学ぶことができました。一日目は、午前中に能代まで新幹線で移動して、午後は農家さんと「だまこ」とよばれる米を練ったものを作るのを手伝わせて頂いたり、団らんを楽しみました。二日目は、朝から雨でしたが、地元の中学生との交流で、チームを組み、一緒にバスケットボールをしたり、ネギの丸焼きを食べたり、歴史ある建物を見学したりなど、充実した時間を過ごすことができました。また、三日目の帰りの新幹線では、皆と仲良くなることもできました。私がこの能代で印象に残ったことは、特に地元の中学生との交流です。豊島区と能代は違う所がたくさんあり、良い体験でした。また、この経験は学校生活に生かしたいです。

◇学校評価アンケートのご協力をお願い◇

お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございます。12月8日(木)までにご提出いただきますよう、よろしくお願い致します。この結果をもとに来年度の教育活動の充実と発展に生かしていきます。なお、結果がまとまりましたらご報告致します。

生徒の活躍

○豊島区立小・中学校R&Cフェスタ

豊島区読書感想文コンクール表彰 優秀賞 ***** (3年)

読書の取組の発表 2年図書委員 *****

英語教育に関連した読書活動発表 ***** (1年書道部)

○男子バスケットボール部 東京都中学校バスケットボール新人戦 ベスト32

○バドミントン部 東京都中学校バドミントン新人大会 Bブロック

男子ダブルス 第3位 (都大会ベスト16) ***** (2年)

○卓球部 男子団体 第3位

○中学生「税についての作文」

東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞「生きていくための税金」 ***** (3年)

//

会長賞「知って驚いた『ふるさと納税』」 ***** (3年)

豊島納税貯蓄組合連合会 優秀賞「税金について」 ***** (3年)

○豊島区駅伝競走 第3位 ***** (2年)

○豊島区明るい選挙ポスターコンクール 入選 ***** (1年)

○薬物乱用防止推進ポスター 佳作 ***** (2年)